



記念日と聞いて、みなさんはどんな日を思い浮かべますか？

日本には、国民の祝日や年中行事をはじめ、誕生日といった個人的なものから、企業が自社の商品やサービスを浸透させるために制定した日、社会的な団体がその役割を広めるために設けた日まで、さまざまな記念日があります。その数は年々増え続け、毎日何かしらの記念日があると言っても過言ではありません。

5月もたくさんの記念日があり、憲法記念日(3日)やこどもの日(5日)、母の日(第2日曜日)などによく知られたものもあれば、「婚活の日」(2日)、「博士の日」(7日)、「アイスクリームの日」(9日)などのおもしろい記念日もあります。その一つ一つの由来やエピソードを知っていると、会話の話題に事欠くことはなさそうです。

実は、図書館にも記念日があります。4月30日の「図書館記念日」です。1950年のこの日に図書館の設置基準や運営方針を定めた図書館法が公布されたことにちなんで制定されました。また、5月25日は「納本制度の日」です。納本制度とは、文化的資産を保存し継承することを目的に、出版物を国の公的機関に納入することを発行者に義務づける制度のことです。1948年5月25日に国立国会図書館が納本の受付を開始したことを記念して設けられました。

この記念日という言葉が一般に定着させるきっかけになったのが、一「この味がいいね」と君が言ったから七月六日はサラダ記念日—という一首が入った俵万智さんの歌集『サラダ記念日』とされています。何でもない日でも自分で記念日にしてしまうと、その日が特別なものになります。自分だけの記念日をつくって、毎日楽しく豊かなものにできたらいいですね。



『すぐに役立つ
366日記念日事典』
加瀬 清志/著
創元社
386.9 カ

よく知られている記念日はもちろん、様々なジャンルの記念日を由来やエピソードの解説を交えて日付順に紹介。新しく認定された記念日 480 件以上を掲載した改訂増補版。



『浜内千波のお気軽
おもてなし菜時記』
浜内 千波/著
アスペクト
K596 ハ

お正月、ひな祭り、七夕、ハロウィンなど、季節の行事に合わせたおもてなし料理を紹介。野菜を使ったヘルシーレシピが満載で、食べもの歳時記、おもてなしテクニックも掲載。



『サラダ記念日』
俵 万智/著
河出書房新社
B911.1 タ

1987年に出版され、大ベストセラーになった俵万智さんの歌集。表題の「サラダ記念日」をはじめ、434首を収録。現代短歌の先駆けと言われ、第32回現代歌人協会賞を受賞。

〈図書館カレンダー〉

- ※ 毎週**火曜日**は休館日です。
- ※ **6/12(木)～6/17(火)**は蔵書点検のため休館いたします。
- ※ 開館時間 10:00～20:00

5月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22/29	23/30	24	25	26	27	28

決定！2014年 本屋大賞

1位

村上海賊の娘 上・下巻
和田 竜/著
新潮社
F913.6 ワダ



4月8日(火)、2014年本屋大賞が発表されました。本屋大賞とは、過去一年間に刊行された日本小説の中から、書店員が売りたいと思った本を投票で選ぶ文学賞です。ノミネートされた10作品の中から、2014年の本屋大賞1位に輝いた作品は和田竜著『村上海賊の娘』でした。この作品は戦国時代に瀬戸内海で栄えた海賊王・村上氏の娘・景が、戦いに身を投じていく姿を描いた長編歴史小説です。

この賞には「本屋大賞」と、過去一年間に翻訳された小説から選ぶ「翻訳小説部門」、それ以前に出版された本から選ぶ「発掘部門」があります。本の雑誌社から毎年出版されている『本屋大賞』という本では、ノミネート作品に対する書店員のコメントや一次投票結果、翻訳小説部門・発掘部門の結果を一挙に知ることができます。本屋大賞にノミネートされた作品だけでなく、他部門に選ばれた作品もぜひ読んでみてください。

- 2位「昨夜のカレー、明日のパン」木皿 泉/著 河出書房新社 F913.6 キザ
- 3位「島はぼくらと」辻村 深月/著 講談社 F913.6 ツジ
- 4位「さようなら、オレンジ」岩城 けい/著 筑摩書房 F913.6 イワ
- 5位「とっぴんばらりの風太郎」万城目 学/著 文藝春秋 F913.6 マキ
- 6位「教場」長岡 弘樹/著 小学館 F913.6 ナガ
- 7位「ランチのアッコちゃん」柚木 麻子/著 双葉社 F913.6 ユズ
- 8位「想像ラジオ」いとう せいこう/著 河出書房新社 F913.6 イト
- 9位「聖なる怠け者の冒険」森見 登美彦/著 朝日新聞出版 F913.6 モリ
- 10位「去年の冬、きみと別れ」中村 文則/著 幻冬舎 F913.6 ナカ



こどもりょうりきょうしつ よんで つくって たのしもう！

3月25日(火)、長崎市立図書館1階にあるレストラン池田屋で、小学生とその保護者を対象に「よんで つくって たのしもう！」と題して料理教室を開催しました。

今回の料理教室では、長崎県の特産品「じゃがいも」と、図書館の前にある緑の広場「メモリアルの森」をテーマに、ブックトークと読み語りを行いました。その後、池田屋のオーナー・池田美代子氏監修のもと、じゃがいものニョッキを作っておいしくいただきました。親子で料理と本の両方を楽しんでいただけたようです。調理中やお話を聞いているときのいきいきとした表情が素敵でした。

今回のようなイベントで、食を通じて長崎のことをより深く知り、図書館のことも身近に感じていただけたらと思います。



読み語りで紹介した本

「じゃがいもポテトくん」長谷川 義史/作 絵 E ハ

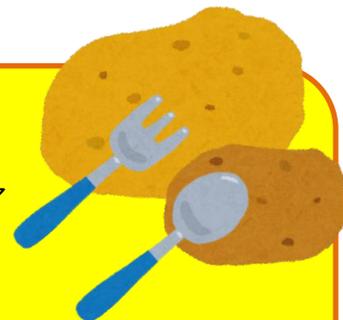
「いただきまーす！」二宮 由紀子/文 荒井 良二/絵 E ア

ブックトークで紹介した本

「ジャガイモ」津幡 道夫/著 616 ツ

「ポテトサラダ」福 明子/作 江頭 路子/絵 913 フ

「学校のまわりでさがせる植物図鑑 樹木」近田 文弘/監修 平野 隆久/写真 470 ガ





ブックボタン

毎月2名の図書館員が、テーマをもとにおすすめの本を紹介!

今月のテーマは **数字**

数字を通して見えるもの

わたしたちは様々な数字に囲まれて生活をしています。日々の暮らしの中でよく目にする数字の一つに「こよみ」がありますが、立春、夏至、秋分などの「二十四節気」のほかに、「七十二候」とよばれる日本古来の季節の区切りがあることをご存知でしょうか?『くらしのこよみ 七十二の季節と旬をたのしむ歳時記』では、それぞれの季節にちなんだ俳句、旬の食べ物や行事などが紹介されています。七十二候とは、約5日ごとに気象の動きや動植物の変化を表したもので、ちなみに5月は、「蛙始鳴(かわず はじめてなく)」、「蚯蚓出(みみず いずる)」、「竹笋生(たけのこ しょうず)」、「蚕起食桑(かいこ おきてくわをはむ)」など。季節感あふれる美しい音の響きは、まるで一篇の詩のようです。

さて、物事を客観的に捉えるために用いられる数字ですが、実は主観的で感覚的なものでもあることを実感させてくれるのが、『数字のモノサシ 絵で見る数字の感じ方』です。著者は、JT 広告「大人たばこ養成講座」で有名な、イラストレーターの寄藤文平氏。数字の感じ方を視覚化したユニークなイラストには、思わずクスリと笑ってしまいます。数字との上手な付き合い方のヒントが詰まった1冊です。

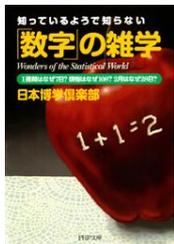
(司書 馬込 陽子)



『くらしのこよみ
七十二の季節と旬をたのしむ歳時記』
うつくしいくらしかた研究所/編集
平凡社
449.3 ク



『数字のモノサシ 絵で見る数字の感じ方』
寄藤 文平/著
大和書房
410.4 ヨ



『知っているようで知らない「数字」の雑学
1週間はなぜ7日? 煩惱はなぜ108? 月はなぜ28日?』
日本博学倶楽部/著
PHP 研究所
B 049 シ



『数字の国のミステリー』
マーカス デュ ソートイ/著
富永 星/訳
新潮社
410.4 デ

面白い数字の謎

私たちの生活に数字は欠かせない存在です。そんな数字の謎を知ることはとても楽しいものです。

例えば「3分クッキング」を初めて見た時。いきなり料理の先生は「15分煮ます」とにこやかに言いますが、「3分で作るから3分クッキングでしょ」と思わず突っ込んでしまった事がありました。3分で作らないのになぜその番組名なのか、物知りな母から教えてもらいましたが、さらにインターネットでも詳しく検索してみたところ「なるほど」と思ったと同時に「面白い」という気持ちも出てきました。この2つの気持ちをみなさんにも感じてもらえる1冊が『知っているようで知らない「数字」の雑学』です。もちろん、3分クッキングがなぜ「3分クッキング」なのか教えてください。

次にご紹介するのは『数字の国のミステリー』。この本は天才の頭の中を見ているようで、凡人の私はとりあえず、目次で気になった章を読みました。“第4章 解けない暗号事件”。ミステリー好きの私は、“暗号事件”という単語に興味津々です。ここに書かれている暗号をいつか使ってみようと、今からウズウズしています。また、本に必ず記載されている ISBN についても紹介されています。この謎を読んだら、ぜひお気に入りの本と電卓を手にお取りください♪

(司書 市之瀬 紗希)

蔵書点検による休館と、それに伴う貸出期間変更のお知らせ

下記の期間を蔵書点検のため休館させていただきます。
ご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◇休館期間：6月12日(木)～6月17日(火)

◇貸出期間：5月29日(木)～6月11日(水)にすべての図書館・図書室から貸し出される資料について、
貸出期間を3週間とします。

◇休館中の資料返却について

本：正面玄関右側の返却ポストに1冊ずつ投入してください。

長崎市内の公民館・ふれあいセンター等の図書室でもお返しいただけますが、返却処理を行いませんので、
返却された冊数分の追加貸出はできません。ご了承ください。

CD・DVD・紙芝居：開館後(6月18日(水)以降)にカウンターで直接返却してください。

◇予約の対応について

期間中、市立図書館に在庫する資料は、インターネットや図書室等での予約に対応できません。

◇施設(ホール・会議室ほか)利用について

予約・利用申請の手続きなど、施設に関するすべての利用を休止させていただきます。

図書貸出券には有効期限があります



- 登録された日以降の誕生日から3年2ヶ月後に期限が切れます。期限が切れた貸出券も、更新手続きをすれば引き続きご利用いただけます。
- 有効期限の6ヶ月前から、貸出時に発行するレシートに有効期限を記載いたします。
また、有効期限の2ヶ月前から、カウンターで更新のご案内をいたします。
- 更新手続きは誕生日から有効期限までの2ヶ月間に行ってください。
- 更新手続きには申込書の記入と、住所・生年月日が確認できるもの(免許証や保険証など)の提示をお願いいたします。(小学生以下の方は申請書の記入のみ)
- 旧貸出券も新しい図書貸出券への切り替えを行ってください。
- 有効期限が切れた図書貸出券は利用停止となり、貸出・予約ができなくなりますのでご注意ください。

黒崎地区公民館図書室の休室に関するお知らせ

黒崎地区公民館の建て替えのため、図書室が平成26年4月26日(土)から平成27年3月まで休室いたします。
ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

予約ランキング

※ 予約が集中している本は数ヶ月お待たせすることがあります。予めご了承ください。

順位	タイトル	著者名	出版社	予約数	順位	タイトル	著者名	出版社	予約数
1	祈りの幕が下りる時	東野 圭吾	講談社	377	6	怒り(上)	吉田 修一	中央公論新社	154
2	ペテロの葬列	宮部 みゆき	集英社	284	7	豆の上で眠る	湊 かなえ	新潮社	149
3	村上海賊の娘(上)	和田 竜	新潮社	236	8	だから荒野	桐野 夏生	毎日新聞社	142
4	疾風ロンド	東野 圭吾	実業之日本社	226	9	海賊とよばれた男(上)	百田 尚樹	講談社	138
5	永遠の0(文庫)	百田 尚樹	講談社	186	10	昭和の犬	姫野 カオルコ	幻冬舎	134

(2014年4月13日現在)